

安川電機(6506)



— 円高で減収減益 —

TOPIX500 採用の 3 月決算銘柄で最も早く決算を発表することや、中国関連、スマホ関連ということもあって注目を集めた安川電機ですが、20 日に発表された 2016 年 3 月期業績とともに公表された 2017 年 3 月期予想は減収減益となりました。そして決算を受けて 21 日の安川電機の株価は大きく売られています。

その 2017 年 3 月期の業績予想は、売上高が前年同期比 2.7%の減収、営業利益は同 23.8%の大幅減益の見通しで、一見すると事業環境が厳しくなることでの業績悪化にもみえます。しかし、心配された中国向けやスマホ向けは回復傾向がみられるとのことで、事業環境の悪化を見込んでの減収減益ではないといえます。

今期の業績の足を引っ張るのは円高です。注目された為替の前提はドル円で 110 円に設定されました。その結果、前期からは 10 円余り円高となり、これが売上高と利益を押し下げることになります。仮に為替の影響を除くと売上高は 3.4%の増収となります。また、営業利益は円高の影響(66 億円)と過去の買収に絡む特殊要因(30 億円)を除くと 9 億円増と小幅な増益となります。大幅減益ながら本業は堅調という前提での業績予想となっています。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会